

蒼天

Volume 6
2007.09.

会長からの ごあいさつ

涼 風の候、同窓会員の皆様におかれましては、益々ご清祥の事と存じます。平素は瓜生山同窓会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度より、瓜生山同窓会の第三代会長を務めさせていただきます。彫刻コース2期生の菱田太郎です。どうぞよろしく願いたします。

本年は、京都造形芸術大学開学30年という大きな節目を迎える年となります。日本を代表する歴史と文化を伝えるこの京都において、30年という時を重ねてきたことには大きな意味があります。古きものと新しきものが混在する京都の風土のなか、生まれ出てきた作家たちとその作品、伝え受け継がれてきた伝統、変わりゆく学舎……本学に関わる全ての人たちによって時代を反映しつつも繰り返される変革と発展、それら全てがまさに瓜生山30年の歴史なのです。

また、瓜生山同窓会は本年で発足6年目を迎えました。活動大綱の第2期後半として、組織育成・事業拡大を見据え人的繋がり強化してゆく時期に入っております。本年も

総会や東京同窓会の開催をはじめ、新たな支部の立ち上げや大幅なWEBリニューアルなど、同窓生同士のコミュニケーションを図ると共に更なる結束を期待して数々の事業を行います。

同窓会役員も役員選挙を経てメンバーに動きがありました。私を含め役職は大きく変わっておりますし、新たに加わった者もおります。これまでの組織から良いところは受け継ぎ、改めるところは改善し、気分も新たに全員で運営に取り組んでまいります。ですが一部のスタッフだけが同窓会を切り回すという状況は本意ではありません。できることなら全ての同窓生に同窓会活動に参加していただき、事業に関わっていただきたいと思えます。顔を合わせることでできる機会を少しでも多く持ち、瓜生山の歴史を作った者の一人として共に語り合い杯を酌み交わすような場所を提供できればと考えています。

今年も瓜生山は元気です。瓜生山同窓会も元気に活動してゆくことを約束いたします。そして、同窓生の皆様にも素晴らしい喜びと幸運がありますように！

瓜生山同窓会 会長 菱田太郎

京都造形芸術大学・京都芸術短期大学 瓜生山同窓会会報
編集・発行：瓜生山同窓会事務局 〒600-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
<http://www.cjber.kyotoart.ac.jp/range/doi/>

南棟工事現場に 新校舎 「壁心館」出現？



南棟工事現場の防護壁に、在学生の茶目つ気を発見。それにしても「壁心館」とは！

東京同窓会 & コミュニティーネット

開催の報告

母校も開学30周年を迎え、同窓会では去る9月16日、東京で記念イベント「東京大同窓会」を開催致しました。これは、関東在住の卒業生の交流及び情報交換の場として、例年開催している京都本部主催の「東京同窓会」と、東京支部が主催する「東京コミュニティネット」との合同企画になります。関東在住の会員を中心に「参集頂けるコミュニティの場の提供」として今年も2つのイベントを合体企画の場を東京国際フォーラムに設けました。

冒頭では秋元康副学長よりご挨拶を頂戴し、幅広い分野で数多くの作品を世に送り出された先生の立場から見た芸術の社会的展望をお話して頂きました。アーティストのプロフェッショナルのあり方をレストランのプロフェッショナルにたとえた、論理的かつ魅力的なお話には、一同強く感銘を受けるものがありました。

続いて秋元副学長が所長を務め、各メディアでも広く取り上げられた、社会芸術総合研究所「国内の芸大では初の試みとして京都造形芸術大と東北芸術工科大が共同で設立する機関。事務局は東京都渋谷区。学生、教員の才能を情報として研究所に登録し、発表の場及び販売ルートを開拓。芸術系の人材を求める企業などへの紹介等就職先の斡旋、助言を行う「才能バンク」のご紹介のお時間として設けました。

続く第一部では、当学講師である後藤繁雄教授、曾和治好教授、鎌田東二教授及び活躍中の卒業生アーティストを代表し、カミロポで独自の世界を築いた安居智博さん、短期大学・ビジュアルデザイン卒業、イラストレーターとして活躍中のいそのみつえさん、大学・情報デザイン卒業、洋画家として活躍中の津上みゆきさん、大学・洋画卒業として箔画という伝統の技法を使い新たな分野を築こうとする野口琢郎さん、大学・洋画卒業の4名をお迎えし芸術の将来についてパネルディスカッションを展開していただきました。

第二部では、場所を国際フォーラムの最上階、ガラス張りのラウンジに移動し、参加者全員での懇親会を行い、中原史雄教授も駆けつけてくださいました。あらゆる創作分野で活躍中の皆様の交流の場として、またポर्टフォリオによる作品紹介や名刺交換の場として、90名を超える皆様に「ご参集いただき、盛会のうちに無事終了いたしました。」

この「東京大同窓会」は今後もこの様な場が必要であることを再認識できた事業となりました。同窓会の今後の活動においても、OB・OG展の援助や同窓会WEBサイトのギャラリーレポートのみならず、社会芸術総合研究所との連携を確立することで同窓会の「財産」でもある卒業生に対する支援活動が強固でかつ多彩になるものと考えております。

ます。それによつて、実際運営しているスタッフ一同のみならず、会員の皆様や大学の教職員の皆様にも同様にワクワク・ドキドキしていただける展開を望んでおりますし、そういった展開の実現に向けて邁進して参りたいと存じます。

今後とも、ご理解ご協力賜りますようお願いします。

なお諸事情により、告知が遅れましたことをご詫言申し上げますと共に、沢山の卒業生の皆様にお越しいただけた事、教職員の皆様方にご協力いただいた事をこの場を借りて御礼申し上げます。

また、「才能バンク」につきましては、詳細が判明し次第、順次同窓会WEBサイトに公開していく予定です。



東京大同窓会開催風景



東京大同窓会開催風景



東京大同窓会開催風景

▲東京大同窓会▼

日時： 2007年9月16日(日)午後3時～7時

(受付開始午後2時～、午後3時開会)

午後3時 開式 会長挨拶

午後3時15分

・秋元康副学長挨拶

・社会芸術総合研究所紹介

第1部：午後3時45分 パネルディスカッション

出席予定教員／鎌田東二先生・田名網敬一先生・後藤繁雄先生・曾和治好先生

第2部：午後4時45分 懇親会ラウンジに移動

閉会：午後7時

東京国際フォーラム

(東京都千代田区丸の内3丁目5-1)

会場

701・ラウンジ

ホームページ

<http://www.t-t-forum.co.jp/general/index.php>

キャラバン同窓会日程

日程： 11月4日(日)
開催： 福岡市

福岡交通センター 大ホール(8階)

JR「博多」駅博多口より徒歩1分

講座： 「ルネサンスの肖像 そのミッシンゲ・リンク」

講師： 水野千依 芸術学・トスノ大学院芸術環境研究領域

担当： 植南草一郎 建築デザインコース

大沼憲昭(日本画コース)

中山和也(情報デザインコース)

水野千依(芸術学・トスノ大学院芸術環境研究領域)

日程： 11月18日(日)
開催： 札幌市

北海道立三岸好太郎美術館

地下鉄東西線「西18丁目駅」下車4番出口より徒歩5分

講座： 「桃源郷」の詩と絵画 陶淵明から齋藤芋

銭まで

講師： 芳賀 徹(名譽学長)

担当： 上田 篤(空間演出デザインコース)

岸川謙介(建築デザインコース)

芳賀 徹(名譽学長)

日程： 11月25日(日)
開催： 名古屋

マナハウス7A室(7階)

地下鉄東西線「栄」駅より徒歩5分

講座： 「フランスにおける聖堂壁画修復と壁画創作」

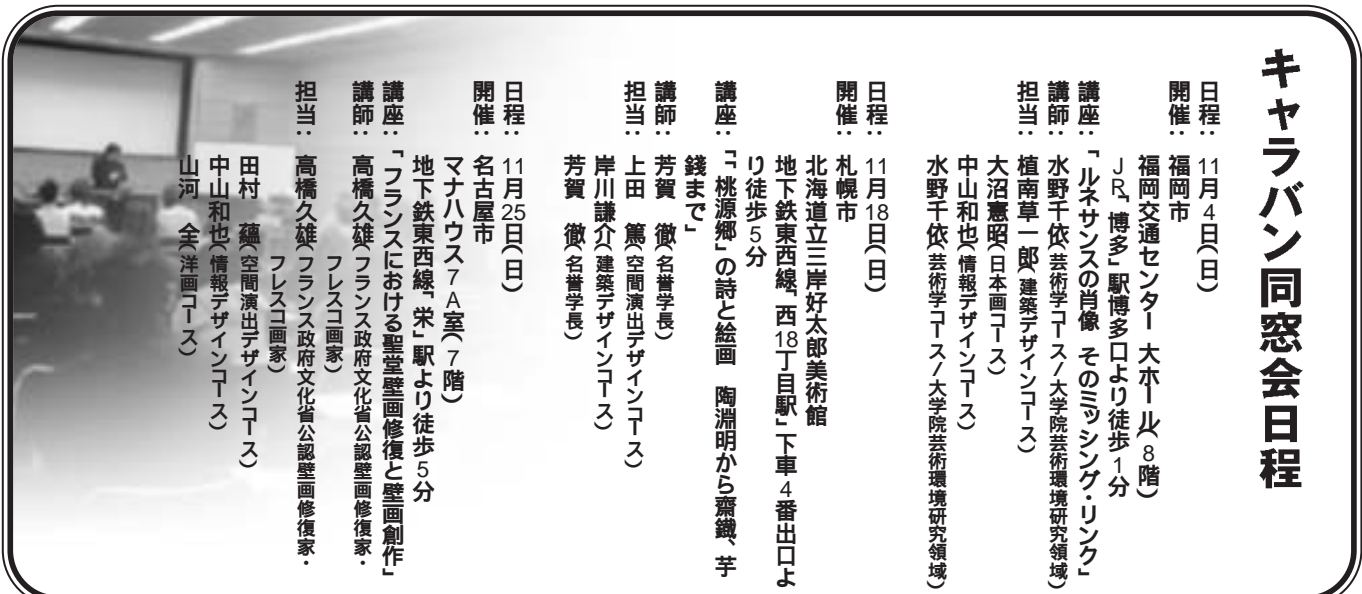
講師： 高橋久雄(フランス政府文化省公認壁画修復家・フランス画家)

担当： 高橋久雄(フランス政府文化省公認壁画修復家・フランス画家)

田村 穂(空間演出デザインコース)

中山和也(情報デザインコース)

山河 全(洋画コース)



平成18年度 事業報告

キャラバン同窓会報告

キャラバン同窓会をきっかけに、北海道に新たな支部を立ち上げることになりました!! これからも全国の同窓生の交流の場としていただければと思っております。

【1】宮城会場

10月29日(日)仙台国際センター
「ワークショップ」亥を作る。林秀行先生紙粘土を使って、2007年の干支である亥をつくりました。
【懇親会】尼崎博正先生/林秀行先生/下村泰史先生

【2】広島会場

1月3日(金)祝(広島芸術専門学校
「ワークショップ」絵画マル得講座 色彩編、自分のシャガールを創りませんか? 中原史雄先生当日は広島県の学習会の皆さんの作品講評会も併せて行われました。
【懇親会】中原史雄先生/久田多恵先生/杉崎貴英先生

【3】愛知会場

1月12日(日)明治村
【特別講義】明治村の近代建築遺産「志村直愛教室での講義の後、先生の解説をお聞きしながら明治村の建物を探索しました。
【懇親会】松井利夫先生/上村博先生/志村直愛先生

【4】北海道会場

11月23日(木)祝(札幌芸術の森・札幌市立大学(札幌市立高等専門学校)
【特別講義】学び舎は「サイレントキスト」森田敏昭先生
今回は同校で助教として教鞭をとっておられる森田敏昭氏 本学短大専攻科修了・通信教育部卒業)をゲストにお招きしました。
【懇親会】曾和治先生/小野眺彦助先生/森田敏昭先生

【5】福岡会場

1月20日(土)福岡県立美術館
【特別講義】絵とは何か? インドの細密画から考える。畠中光亨先生
「ワークショップ」陶印をつくる。吉川充先生参加者全員が自分の名前を粘土に刻みました。後日先生によって焼かれた陶印が希望者に郵送されました。

【懇親会】畠中光亨先生/吉川充先生
昨年度同様九州支部の活動として、九州アンテナ(ワンダラ展)が同時期に開催されました。

平成19年度 事業計画及び予算案

【基本】基本事業

平成19年度事業計画案および年間スケジュール(立案)
「支」北海道支部発足
「支」平成18年度決算報告
平成19年度事業計画案及び予算案の確定

【支】北海道支部発足

4月中旬「支」平成18年度決算報告
平成19年度事業計画案及び予算案の確定
8月下旬「基」東京大同窓会告知
9月16日(日)「基」東京大同窓会開催
9月下旬「基」会報誌発行
10月初旬「支」静岡支部事業告知
10月「特」キャラバン同窓会告知

【特】キャラバン同窓会告知

10月27日(土)「特」開学30周年及び総会開催(会場:NA403)
11月3日(土)「支」静岡支部事業告知

公開講座開催

11月4日(日)「特」福岡キャラバン同窓会開催
11月18日(日)「特」札幌キャラバン同窓会開催
11月25日(日)「特」名古屋キャラバン同窓会開催

中間監査実施

12月初旬「基」中間監査実施
12月中旬「基」中間報告会
平成20年
3月中旬「基」平成20年度事業計画案及び予算案確定
4月中旬「基」平成19年度監査および決算

本部事業

開学30周年に伴い、大学の合理化をはかる。またweb同窓会リニューアル及びサーバ移転を含めた、情報提供の充実化をはかる。
支部事業:東京・静岡の支部事業を軸に展開。新たに北海道支部発足、神戸支部は発足予定。各支部の企画を重視し、キャラバン同窓会に反映できるように大学との連携をはかる。
その他:役員会幹事会開催適宜。定期的にweb更新作業。会則改定。分科会、支部、OB展等の会員援助事業、イベント企画等。

平成18年度 瓜生山同窓会 決算書(案)

収入の部 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)		
科目	予算	実績
会費収入	24,510,000	24,180,000
預金利息		50,615
事業収入		25,000
前年度繰越金	103,770,380	103,770,380
収入合計	128,280,380	128,025,995

科目	予算	実績
総会費	2,000,000	1,360,590
役員会・幹事会費	1,000,000	1,214,010
会報発行費	500,000	430,600
会報郵送費	1,500,000	871,285
事業費	800,000	482,000
同窓会本部事業費(Web同窓会費)	1,500,000	10,500
東京同窓会費	400,000	707,877
支部活動費	2,400,000	959,722
その他地域活動費	600,000	486,621
分科会費	650,000	51,280
分科会予備費	0	0
小計	6,350,000	2,698,000
事務用品費	100,000	150
通信費	400,000	250,650
設備費	500,000	395,035
予備費	400,000	0
中計	12,750,000	7,220,320
次年度繰越金	115,530,380	120,805,675
支出合計	128,280,380	128,025,995

監査報告

各項監査の結果、正確であることを認証する
2007年5月9日 監査 松居 朋樹・村田 光三

平成19年度 瓜生山同窓会 予算書(案)

収入の部			備考
科目	2007年度予算	2006年度予算	
会費収入	22,920,000	24,510,000	2007年度通信3,990,000円(133名) +2007年度卒業生16,930,000円(631名)
預金利息			
前年度繰越金	120,805,675	103,770,380	
収入合計	143,725,675	128,280,380	

支出の部			備考
科目	2007年度予算	2006年度予算	
総会費	1,000,000	2,000,000	
役員会・幹事会費	1,200,000	1,000,000	
会報発行費	500,000	500,000	会報制作・印刷費16,000部
会報郵送費	1,500,000	1,500,000	会報誌郵送、会報誌発送ラベリング、封入、送付印刷等+保護シール
事業費	800,000	800,000	
同窓会本部事業費(Web同窓会費)	5,000,000	1,500,000	サーバ移転に向けて/携帯サイトバージョンアップ・更新料等
東京同窓会費	700,000	400,000	
支部活動費	2,000,000	2,400,000	TCN関連及び、東京支部を含めて北海道・愛知・広島・静岡等の5支部の活動活性化を想定
その他地域活動費	500,000	600,000	キャラバン同窓会等
分科会費	650,000	650,000	従来通りの分科会申請
小計	9,650,000	6,350,000	
事務用品費	50,000	100,000	
通信費	400,000	400,000	
設備費	500,000	500,000	
予備費	400,000	400,000	
支出合計	16,250,000	12,750,000	

我が母校の2007年度!!

大学創立30周年!!

京都芸術短期大学に始まる本学の歴史も30年という節目の年を迎えました。10月には30周年記念式典を大学にて行う予定です。また、30年史の編纂も進行中です。

千住博氏が学長就任!!

任期満了となった若賀徹前学長の後任として、千住博氏が学長に就任されました。学生の先頭に立ち、力強く牽引して下さい。

望天館2号(南棟)新校舎竣工予定

昨年号で建替えをお伝えした、南棟校舎立替工事は着々と進められております。竣工予定は3月末です。

【夕涼祭】7月7日

今年の夕涼祭は七夕の日に行われました。学生達の若さ溢れる熱気で、初夏の暑さを吹き飛ばす盛り上がりを見せられました。

【瓜生山祭】11月1日～3日

例年大変な盛り上がりを見せる瓜生山祭。初冬の風にも負けぬ勢いで何かを起こそうと学生達は画策中の様子です。今年も今までに負けないくらい面白くことが起こりそうです。

【卒業制作展】2月27日～3月2日(通学部)

3月16日～3月21日(通信教育部・予定)
毎年素晴らしい4年間の集大成を見せてくれる卒業制作展。通学部については本年度も京都市美術館(学部生)と大学(大学院生)の同時開催です。通信教育部は本学にて開催致します。

●開催告知 静岡同窓会を開催します

静岡で3年に一度開催される、お茶に関する文化、産業、学術研究の総合イベント「世界お茶まつり2007」が11月1日～4日に開催されます。この期間に合わせて、静岡支部でも同窓会を企画しております。

茶道の歴史・文化に精通しておられる小川後楽教授をお迎えし、講演と懇親会の二部構成の静岡同窓会を開催します。

日程：11月3日(土)
講演タイトル：「煎茶の世界」(仮)

場所は調整中ですので、決定次第追ってWeb同窓会および携帯サイトへの掲載と、東海地区の卒業生を中心に郵送にてご案内をお送りいたします。

東海地区以外の地区在住で、参加を希望される場合は「氏名(旧姓)」「卒業大学とコース」「卒業年」「現住所」「電話番号」を明記の上、同窓会事務局 dosokaka@kca.kyo-u.ac.jp までメールにて「静岡支部案内希望」とタイトルを付けてエントリーください。よろしく願っています。

北海道支部便り

5月13日、ホテル札幌ガーデンパレスにて初めての支部(事業)、懇親会を開催。新しい出逢いに歓声が響き渡りました。

支部事業として、北の大地で芸術活動の研鑽や交流の場として、12月10日第一回研究会(染織フェルト造形)、10月10日第二回研究会(シルクスクリーン)を実施しました。展覧会では、10月29日～11月3日 京都造形芸術大学 O.R. North Studio(ノース・カオス)展を札幌時計台ギャラリーで開催します。北の混沌グループとして支部員は継続し定着を願っています。

北海道支部支部長 中田登

瓜生山同窓会 ウェブサイト

10月27日リニューアルオープン!
ウェブリニューアルにもないURLを変更いたします。

「新URL」http://uridou.jp/

瓜生山同窓会 役員一覧

役員

- 【会長】 菱田太郎 (大学彫刻1999年度卒)
- 【副会長】 早野素子 (大学彫刻1994年度卒)
- 【副会長】 渡部隆志 (大学彫刻1997年度卒)
- 【副会長】 片石高幸 (短大デザイン1997年度卒)
- 【副会長】 小石高幸 (短大デザイン1998年度卒)
- 【書記】 中田泉 (大学：情報デザイン1995年度卒)
- 【顧問】 目良義夫 (短大デザイン1986年度卒)
- 【庶務】 北村奈世 (大学染織2001年度卒)
- 【庶務】 冨家裕久 (大学環境デザイン1995年度卒)
- 【庶務】 山下雅己 (大学洋画1994年度卒)

監査

松居朋樹 (大学通信陶芸2001年度卒)
村田光三 (大学通信陶芸2003年度卒)

幹事

- 【幹事】 分野/美学生協(短大・美術系) / 大学：芸術学・ASP / 通信：芸術学(大衆文化・芸術文化研究)
- 山本慶太(大学：芸術学1997年度卒)
- 吉村麗二(短大：美術学1998年度卒)
- 【幹事】 分野/文化財・歴史遺産(短大) / 大学：文化財科学・保存修復 / 歴史文化・通信：歴史遺産(大学院：芸術文化研究)
- 長谷川雅浩(大学：文化財科学1998年度卒)
- 【幹事】 分野/映像(短大・映像CG / 大学：映像芸術 / 通信：大学院：芸術表現映像)
- 池田直美(大学：映像1997年度卒)
- 【幹事】 分野/舞台(短大) / 大学：舞台芸術 / 通信：大学院：芸術表現(芸術)
- 山本容子(大学：舞台芸術2005年度卒)
- 【幹事】 分野/日本画(短大・日本画 / 大学：日本画 / 通信：日本画 / 大学院：芸術表現(日本画))
- 米田美(大学：日本画1995年度卒)
- 内藤邦博(短大：日本画1990年度卒)
- 【幹事】 分野/洋画(短大・洋画 / 大学：洋画 / 通信：洋画 / 大学院：芸術表現(洋画))
- 山下雅己(大学：洋画1994年度卒)
- 山本若正(短大：洋画1980年度卒)
- 【幹事】 分野/彫刻(短大・立体 / 大学：彫刻 / 通信：大学院：芸術表現(彫刻))
- 小本敬次(大学：彫刻1997年度卒)
- 小林博(短大：立体1990年度卒)
- 【幹事】 分野/陶芸(短大・陶芸 / 大学：陶芸 / 通信：陶芸 / 大学院：芸術表現(陶芸))
- 出口宗孝(大学：陶芸1990年度卒)
- 中野悟朗(短大：陶芸1978年度卒)

訃報

舞台芸術学科 観世榮夫教授が、本年6月6日午前8時35分逝去されました。(享年79歳)

観世先生は、能楽師・演出家・俳優として多彩な活動に取組まれる傍ら、1992年より本学教授として伝統芸能の教育に力を尽くされ、加えて瓜生山新能をはじめとする各種公演の出演や、学生とのコラボ活動の指導にも取組まれるなど、本学に多大な功績を残されました。慎んで哀意を表し、ここに報告申し上げます。

本年3月未だ映像・舞台芸術学科の学科長及び教授で、今年度より舞台芸術学科の客員教授を務められた太田信吾氏が、7月13日金午午後5時0分逝去されました。(享年87歳)

太田先生は、1999年1月に本学教授に就任し、2000年度からの映像・舞台芸術学科の立ち上げとその後の教育運営に力を尽くされ、たくさん作品を生み出し共に作られてきました。さらには、劇作家・演出家として数々の舞台を手掛けてこられたことで、京都芸術劇場 Studio110の芸術監督や、湘南文化センター市民シネマ芸術監督を歴任されたなど、舞台芸術の発展に貢献してこられました。

1月より肺病のため入院、療養中でしたが、肺炎を併発され、残念ながらご帰世の甲斐なく息を引き取られました。心より哀悼を申し上げます。ご冥福をお祈り申し上げます。